

国語
四―一
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 愛あいじようを受けうけて育そつ。
- ② 一週間いっしゅうかん以内にいキャンぱんプの計けい画かくを立たてる。
- ③ 愛媛あいゑん県けんの名な所しよを案あん内ないする。
- ④ 縄なとびの大会たいかいで一い位ゐにななった。
- ⑤ 算数さんすうで位ゐ取りとりの勉べん強きやうをしした。

国語
四―二
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 学級新聞を印刷して生徒に配る。

② 畑にかこまれた赤い屋根の家が目印です。

③ 栄養のバランスに注意して料理を作る。

④ 昔、栄えていた港の周辺を散歩する。

⑤ 英語の力を養う。

国語
四―三
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 日本にっぽんの人口じんこうは一億人いちいっぴんをこえている。
- ② 食塩しょくえんを少し加える。
- ③ スポーツ大会スポーツたいかいに参加する。
- ④ 栃木県産とちぎけんさんの果物くだものを百貨店ひやくかぶてんで買う。
- ⑤ はん長はんちやうの役目やくめを果たす。

国語
四―四
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 放課後に試合の結果を聞く。

② 朝顔の芽が出る。

③ 大豆がいつせいに発芽した。

④ 自動車工場の機械が大きな音を出す。

⑤ 日ごろからさい害にそなえておく。

国語
四―五
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 改良かいりょうした飛行機ひこうきが飛び立つ。

② 植物しょくぶつの観察くわんさつを改めてやり直す。

③ 十分にねたので、体の調子ていしが良い。

④ しょう来しょうらいは、けい察官けいさつ官になりたい。

⑤ 群馬県群馬県で放牧はうぼくされている羊ひつぎの群れぐんれを見た。

⑥ 特売品とくばいひんに多くの客きやくが群がる。

国語
四一六
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 商店街までの行き方を覚える。

② 街角のお店に世界各国の調味料が売られている。

③ 寒さで指先の感覚が無い。

④ ねん土の作品を完成させる。

⑤ 目覚まし時計が鳴る。

国語
四―七
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① ロケットの発しやに成功する。

② 試験管をあらう。

③ 新たな試みにむねがおどる。

④ 工作にストローのような管を使う。

⑤ なせば成る なさねば成らぬ 何事も。

⑥ 徳島県に向かう船に乗る。

国語
四一八
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 戦争せんそうが無くなくなることを願ねがう。

② 試合しあひで戦たたかう相手あいてのことを念入ねいじゆりに調しらべる。

③ 争まじいを望のぞむ人ひとはいない。

④ 旅行先りょこうさきは福井県ふくいけんを希ねが望わします。

⑤ 長年ながねんの悲願ひがんを果はたす。

国語
四一九
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 仲間に協力を求める。

② 試合に敗れ、大会連覇を達成するゆめが、
はかなく散った。

③ 散歩中に友達を見かけた。

④ 敗者ふっ活戦を勝ち上がる。

⑤ 駅に求人ポスターがはってあった。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① この辺りは城下町だった。

② 選手が健康なのは食事のおかげだ。

③ 長崎県で、海辺の景色のきれいな場所を
選び、家を建てる。

④ この辺には建せつ中の建物が多

⑤ 宮城県にあった古い城について調べる。

国語
四十一
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① わき出た清水が、静かに流れる。
- ② 清けつなガ―ゼをたなに積む。
- ③ 静電気が発生する。
- ④ 円の面積を求めろ。
- ⑤ 清らかな心の持ち主。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 沖縄おきなわ県の美しい自然しぜんをほごする。

② これは天然てんぜんの温泉おんせんで、とても熱あつい。

③ 熱あつがあるので無理むりはできない。

④ 太陽たいやうが照りありつける中なか、海うみで漁いしをする。

⑤ 無事むじに漁業組合いしぎあひに着きいた。

⑥ この部屋へやには照明しょうめいが無ない。

国語 四十三 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 京都府きょうとふにある会社かいしゃで働く。
- ② ノートに付つせんを付つける。
- ③ 香川県かがわけんの特産品とくさんひんをならべる。
- ④ かれは博学はくがくで何なにでも知しっている。
- ⑤ 姉あねはみんなから信しんらいされている。
- ⑥ 春はるが近ちかづき、梅うめの花はなの香かりがただよう。

国語 四―十四 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 池いけの周まわりりを歩あく。
- ② アフリカ大陸たいりくを横よこだんする。
- ③ 生徒せいとがくつのひもを結むすぶ。
- ④ 走はしって校庭けうていを一ひと周する。
- ⑤ 試験しけんの結果けつがを早はやく知しりたい。

国語 四―十五 (読み)	第四学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
--------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① ノートに直径十センチメートルの円をか
く。
- ② 毎日、運動を続けている。
- ③ バスが連続して五台も通っていった。
- ④ 大きな声で笑う。
- ⑤ 北極では、オーロラを見ることができ
る。

国語 四十六 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日					
月					
日					

の漢字の読みを
の右側に書き
ましょう。

- ① 今度の祝日は、家族で料理を作る。
- ② 親類が集まって赤ちゃんのたん生を祝う。
- ③ 季節の花を部屋にかざる。
- ④ 冬休みの初日に、初雪がふった。
- ⑤ この類いの商品を使うのは初めてだ。

国語 四十七 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎに書き
ましょう。

- ① 茨城県茨城県で作つくられた野菜野菜を買かう。
- ② 正しいただしいことは、勇気ゆうきをもつて実行じっぎんしよう。
- ③ テレビで高校球児こうこうきゅうにの勇ましい行進ぎんしんを見る。
- ④ 体育たいいくで順番じゅんばんに側転せいてんの練習れんしゅうをする。
- ⑤ 右側みぎのたなに教科書きょうかしょをしまう。

国語 四十八 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 労働時間らうどんじかんが短みくなつた。
- ② 初はじめてめて給料きりょうをもらう。
- ③ けい察官けいさくわんになるといふ目標もくひょうに向むかかって、
努力どりょくする。
- ④ 時間じかんをおしんで研究けんきゅうに努つとめる。
- ⑤ みんなで協きょう力りきして成功せいこうさせる。

国語 四十九 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字の読みを
の右側に書き
ましょう。

- ① こんなかんな問題をとくのは朝飯前だ。
- ② 給食のしたくを最初に終える。
- ③ ここは、日本で最も地形の変化に富んだ場所です。
- ④ お祝いに赤飯をたく。
- ⑤ 天候が急に変わる。

国語
四—二十
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 川かわの底そこのごみごみを拾ひろう。

② 低気ていきあつが近ちかづき天候てんこうがあれある。

③ 海底かいぞうから古ふるい食器しょくぎが見みつかる。

④ 失敗しぱいは成功せいこうのもと。

⑤ 兄あにはすつかり自信じゆんを失うつた。

⑥ 低ていい声こゑを出だす。

国語 四―二十一 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日
						月
						日

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 末の弟は、手先が器用だ。
- ② 六才未満は入場無料です。
- ③ 年末に会うことを約束した。
- ④ 花束を買うにはお金が不足していた。
- ⑤ 月が満ちてくる。

国語 四十二 (読み)	第四学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 今年ことしの目標もくひょうは、家いへの手伝てつだいいを毎日まいにちするこ
とだ。
- ② 伝票でんぴょうを持もつてレジレジに行いく。
- ③ 重要じゅうようなことを伝つえる。
- ④ おうぎの要ようの部分ぶぶん。
- ⑤ 決きまつた位置ちゐに、つくえを置おく。

国語 四―二十三 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 赤あかちゃんちゃんが笑わらつたり泣ないたりする。
- ② 海うみ水みづ浴よくをしたので、シヤワーシャワーを浴よくびた。
- ③ あらゆる方かた法ほうで治ちりようを試しみる。
- ④ 国くに民たみのためためのせい治ち。
- ⑤ 国くにを治ちめるリりーりダー。
- ⑥ 医い学がくの進しん歩ぽによつて治ちる病びやう気きがふえる。

国語
四―二十四
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 好みこのみの服ふくを着きて、鏡かがみで見みる。

② 孫まごの大おほ好きこのみなカレーカレーを作つくる。

③ 子孫こごのためために記録きこくを残のこす。

④ 好物このもののいいわしわしを炭火すすで焼やく。

⑤ けい光燈けいこうとうの光ひかりでは、けんび鏡けんびかがみで観察くわんさつする

のに十分じゅうぶんではななかつた。

国語 四―二十五 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① ここでは新聞を印刷しています。
- ② パソコンを利用して年賀じょうを刷る。
- ③ 例えば、鳥取県に旅行するでしょう。
- ④ 送別会で友達と別れをおしむ。
- ⑤ ボールを的に当てる方法を、具体的な例を挙げて説明する。

国語 四―二十六 (読み)	第四学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 「おもちゃの兵隊の行進曲」をピアノでひく。
- ② 遠くまで山が連なる。
- ③ 軍手をして、車輪を交かんする。
- ④ 輪ゴムを連続で飛ばす。
- ⑤ 子どもを連れて兵庫県に行く。

国語
四一二十七
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字^{かんじ}の読み^よを

の右側^{みぎがわ}に書き^か

みましょう。

① 残った野菜は包丁できざみ、チャーハン
の材料にした。

② 菜の花はさいていたが、残念なことに、
さくらは散ってしまった。

③ 海の浅い所で遊ぶ。

④ 衣類をふろしきに包む。

⑤ 都市部にくらべ、郡部は自然がゆたかだ。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書き

みましょう。

- ① 言葉の意味を調べるときには国語辞典が
便利だ。

- ② 助けてくれたお礼を便せんに書く。

- ③ この辺りは自然がほう富だ。

- ④ 富山県に住む仲間から便りがとどく。

- ⑤ 静岡県は、お茶の産地として有名だ。

- ⑥ 一代で、ばく大な富をきずく。

国語 四―二十九 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① プリントには必ず氏名を記入すること。
- ② 副キャプテンがはちまきに「必勝」と書く。
- ③ 「挙手」とは、手を挙げることです。
- ④ 六年生はもうすぐ卒業だ。
- ⑤ 王が家来に命令する。

国語 四―三十 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 冷めたスープを温める。
- ② 冷ぼうがききすぎて体が冷えた。
- ③ 冷たい飲み物を注文する。
- ④ 会議に参加する。
- ⑤ 新潟県まで電車で参ります。

国語
四―三十一
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字の読みを

の右側に書き

ましよう。

- ① 共に努力し、関わり合う中で成長する。
- ② 二つの競ぎに共通することを考える。
- ③ 訓練によって関節の動きを良くする。
- ④ 競馬場の近くに公園がある。
- ⑤ かつお節をかける。
- ⑥ 八王子市には、昔、小仏関所があった。

国語
四―三十二
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① オリンピックで旗手をつとめる。

② 観らん席で旗をふっっておうえんする。

③ 昨日見たすばらしい景色が今も心に残っている。

④ 信じられない光景に目をうたがう。

⑤ 昨夜のプロ野球の試合結果を調べる。

国語
四―三十三
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 折り紙でつるを作る。

② 松竹梅の三種類のおべん当を買う。

③ 松と梅の木のえだを切る。

④ 畑に大根の種をまく。

⑤ その角を右折してください。

⑥ 四季折々の花をかざる。

国語 四―三十四 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 倉庫を借りる。
- ② 鎌倉かまには、多くの古い寺がある。
- ③ 父の万年筆を借用する。
- ④ 新しい大臣の話はなしを聞く。
- ⑤ 友人の言うことを信じる。

国語
四―三十五
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きかき

みましょう。

① お皿おひらが欠かけた。

② 先生せんせいが出欠しゅつけつをかくにんする。

③ 日本固有にっぽんこゆうの文字もじ。

④ 父ちちの一言いちごんで決心けっしんを固かめる。

⑤ 電車でんしゃで老人らうじんに席せきをゆずった。

⑥ 人ひとはだれでも老おいいていく。

国語 四―三十六 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 白組が大差で勝った。
- ② 西日の差す部屋。
- ③ 札に自分の名前を書く。
- ④ 千円札が十億まいで一兆円だ。
- ⑤ 学級会で司会をする。

国語 四―三十七 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
---------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 金魚がたまごを産む。
- ② 青森県はりんごの産地だ。
- ③ 料理で塩の量を量りまちがえた。
- ④ じゆ文を唱える。
- ⑤ 詩を暗唱する。

国語 四―三十八 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 説明を省いたことを深く反省する。
- ② 学芸会の練習にみんなで熱心に取り組む。
- ③ 文章を省りやくして、かん単にする。
- ④ 人の道を説く。
- ⑤ 福岡県は父の生まれた場所だ。

国語
四―三十九
(読み)

第四学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① みんなで鳥の巣箱を作った。
- ② ひざに包帯をまく。
- ③ 夫が、つまに美しい帯を買う。
- ④ 空が赤みを帯びた色にそまる。
- ⑤ 田んぼで農夫が働いている。
- ⑥ 岐阜県の特産品の牛肉を食べる。

国語 四―四十 (読み)	第四学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みよみを
の右側みぎがわに書きかましよう。

① 父は佐賀県の、母は滋賀県の出身だ。

② 東京都は、埼玉、千葉、山梨、神奈川の

四県ととなり合っている。

③ 大分県や熊本県、鹿児島県など九州地方
をめぐる。

④ 大阪府に住む友達に電話をした。

⑤ 奈良公園の鹿は、観光客に愛されている。